

ニホンウサギコウモリ

Plecotus sacrimontis G. M. Allen
コウモリ目・ヒナコウモリ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では、1例の確認があるだけで、情報不足である。

分 布

北海道、本州、四国に生息している。県内では勝山市北谷で1例が確認されているだけである。

種の特徴

ねぐらとして、自然洞窟、廃坑、隧道や家屋、樹洞を利用することが知られている。落葉広葉樹や針広混交林を生息場所としている。

生息を脅かす要因

主な生息地となる落葉広葉樹林や針広混交林の伐採が影響を及ぼすと考えられる。

参考文献 阿部永（1994）、東洋蝙蝠研究所（2005）、百崎（2009）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		

ムササビ

Petaurista leucogenys (Temminck)
リス目・リス科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

繁殖や休息場所として不可欠な樹洞ができる大径木のある森林の伐採により生息環境が消失または孤立している。

分 布

北海道を除く本州、四国、九州、沖縄に生息している。県内では樹木の伐採で幼獣が保護されるケースにより生息が確認されることが多い。

種の特徴

低山～亜高山の樹洞ができる自然林や二次林に生息する。夜行性で完全に樹上で活動し、被膜を用いて木々間を滑空し移動する。植物食性で、樹木の芽、葉、花等を採食する。ねぐらや繁殖場所として、樹洞のほか人家の屋根裏も利用する。

生息を脅かす要因

繁殖や休息場所に不可欠な樹洞のある大径木を有する自然林や発達した二次林の減少が挙げられる。また、生息場所が樹上に限定されていることから道路等による森林の分断は、生息場所を孤立させ個体群の存続に重大な影響を及ぼす。

参考文献 阿部永（1994）、日高敏隆（1996）、福井県（1998）、福井県（1999）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○		○	○		○	○		○	○	○	○